

## 平成28年 第2回木津川市議会定例会 開会あいさつ

ご挨拶の前に、このたびの熊本県を中心といたします地震災害でお亡くなりになられました方に心からお悔やみを申し上げますと共に被災されました方に心からお見舞いを申し上げます。

本日ここに、平成28年第2回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用のところ、ご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、議員の皆様には、平素から市政の運営にあたりまして、ご理解とご支援をいただいておりますことにあわせて厚くお礼申し上げます。

さて、議会冒頭の貴重なお時間をいただきまして、市政の状況などにつきましてご報告させていただきます。

まず、「熊本地震の対応について」でございます。

木津川市では、地震発生翌日よりいち早く市の窓口に募金箱を設置させていただきました。

また、応援給水活動として熊本市に、4月22日から4月29日までの8日間2人の職員を派遣しました。また、益城町へは、家屋被害認定調査業務として4月30日から5月6日までの7日間2人の職員を派遣し、各業務の支援活動を行いました。

また、相楽中部消防や山城病院組合におきましても災害翌日より災害救援活動に向かったところでございます。

次に、「京都大学大学院農学研究科附属農場について」でございます。

去る4月1日に、城山台地区に京都大学大学院農学研究科附属農場が業務開始いたしまして、市にとりましても大変喜ばしいことであると考えているところでございます。

京大農場では、城山台のほ場を活用されまして、高品質・高収量生産を可能にする新技術や新規植物の開発を目指した研究をされると伺っております。

この京大農場が、関西文化学術研究都市における「知の集積」の核の一つとなりますこと、また、研究成果の地域への発信・還元を通じまして、本市におけます農業の振興のみならず、地域活性化にも寄与いただけるものと大いに期待しているところでございます。

次に、「木津川市消防団操法大会について」でございます。

平成28年度は隔年で行われます 操法大会の年でございます、6月26日に木津川市消防団の第5回操法大会を州見台小学校にて実施いたします。

各部では、すでに訓練が始まっており、私も先日には指導員による操法の展示

を拝見させていただきました。

消防団員の皆様が、生業の傍ら、地域住民の安全・安心のため、日々、訓練に励んでいただいているその熱意と真剣な姿勢に、地域防災への並々ならぬ思いを感じ、非常に心強く感じたところでございます。

皆様のご努力に心より敬意と感謝を申し上げます。

次に、「企業誘致について」でございます。

先日、議員の皆様にお配りいたしましたとおり、京都府及び木津川市の誘致活動の結果、関西文化学術研究都市木津地区の州見台に、株式会社日本果汁様が進出を決定されました。

青果・果実加工品を主とした各種食品原料の販売を中心に、農産物を通じた地域の活性化、六次産業化、各種加工食品の企画を主な事業内容とされております。

木津地区内では13施設目の立地となり、本年度中には本格操業を開始いただく予定でございます。

しかしながら、このような喜ばしいご報告を申し上げる一方で、市内には、まだまだご活用いただける事業用地が、数多く残っております。

引き続きまして、私自身が先頭に立ち、積極的にトップセールスを行いながら、企業の誘致に努めてまいりたいと考えているところでございます。

さて、本定例会にご提案いたしております、議案につきましては、お手元にお届けいたしておりますとおり、同意7件、承認12件、議案10件、報告2件となっております。

詳細につきましては、後ほど、ご説明させていただきますので、よろしくご審議いただき、全議案ご同意、ご議決いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが今定例会の開会のごあいさつとさせていただきます。